

# 産業環境委員会情報連絡

令和 7 年 1 2 月 9 日

情報連絡件名	頁
(1) 外国人材活用セミナーの開催について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(2) 「T O K Y O 周 穫 祭 2 0 2 5」の出展結果について・・・・・・・・	3

(産業経済部)



# 産 業 環 境 委 員 会 情 報 連 絡

令和 7 年 1 2 月 9 日

件 名	外国人材活用セミナーの開催について																				
所管部課名	産業経済部 企業経営支援課																				
内 容	<p>令和 9 年 4 月開始の育成就労制度や昨今の外国人材活用の機運の高まりを受け、以下のとおりセミナーを開催する。</p> <p><b>1 実施概要</b></p> <table border="1"> <tr> <td>日時（予定）</td><td>令和 8 年 2 月 9 日（月） 1 4 時から 1 7 時</td></tr> <tr> <td>会場</td><td>足立区勤労福祉会館 第 1 ホール</td></tr> <tr> <td>対象</td><td>主にこれまで外国人材の活用実績のない区内中小企業</td></tr> <tr> <td>目的</td><td>外国人材活用の基礎的な知識の習得</td></tr> <tr> <td>定員</td><td>5 0 名</td></tr> <tr> <td>講師</td><td>J A P A N 行政書士法人 代表 小山翔太 氏</td></tr> </table> <p><b>2 セミナーの内容</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>内 容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【第一部】 制度理解および採用と 定着方法</td><td>                     ① 在留資格に関する制度説明                      ② 就労ビザの種類と改正内容（技能実習、特定技能、育成就労）                      ③ 外国人雇用に係る法令順守（不当解雇、税金等の未納、不法就労）                      ④ 適正な人事管理（就労管理、生活支援）                      ⑤ 外国人材を雇用するメリット                 </td></tr> <tr> <td>【第二部】 事例紹介</td><td>                     ① 外国人材受け入れに向けた準備                      ② 受け入れ後の成果や課題                      ※ 経営者と技能実習生による登壇                 </td></tr> <tr> <td>【第三部】 個別相談</td><td>① 個別ブースを複数設置し、行政書士による個別相談を実施</td></tr> </tbody> </table> <p><b>3 周知方法</b></p> <p>（１）あだち広報や区ホームページ、SNS 等                  （２）福祉部や衛生部等の関連部署を通じての周知                  （３）各業界団体への周知</p> <p><b>4 今後の方針等</b></p> <p>令和 8 年度のセミナーについては、区内企業の外国人材活用意向の把握を進めるほか、今年度のセミナーの開催結果を分析し、対象とする業種やテーマ等の開催内容を検討していく。</p>	日時（予定）	令和 8 年 2 月 9 日（月） 1 4 時から 1 7 時	会場	足立区勤労福祉会館 第 1 ホール	対象	主にこれまで外国人材の活用実績のない区内中小企業	目的	外国人材活用の基礎的な知識の習得	定員	5 0 名	講師	J A P A N 行政書士法人 代表 小山翔太 氏		内 容	【第一部】 制度理解および採用と 定着方法	① 在留資格に関する制度説明 ② 就労ビザの種類と改正内容（技能実習、特定技能、育成就労） ③ 外国人雇用に係る法令順守（不当解雇、税金等の未納、不法就労） ④ 適正な人事管理（就労管理、生活支援） ⑤ 外国人材を雇用するメリット	【第二部】 事例紹介	① 外国人材受け入れに向けた準備 ② 受け入れ後の成果や課題 ※ 経営者と技能実習生による登壇	【第三部】 個別相談	① 個別ブースを複数設置し、行政書士による個別相談を実施
日時（予定）	令和 8 年 2 月 9 日（月） 1 4 時から 1 7 時																				
会場	足立区勤労福祉会館 第 1 ホール																				
対象	主にこれまで外国人材の活用実績のない区内中小企業																				
目的	外国人材活用の基礎的な知識の習得																				
定員	5 0 名																				
講師	J A P A N 行政書士法人 代表 小山翔太 氏																				
	内 容																				
【第一部】 制度理解および採用と 定着方法	① 在留資格に関する制度説明 ② 就労ビザの種類と改正内容（技能実習、特定技能、育成就労） ③ 外国人雇用に係る法令順守（不当解雇、税金等の未納、不法就労） ④ 適正な人事管理（就労管理、生活支援） ⑤ 外国人材を雇用するメリット																				
【第二部】 事例紹介	① 外国人材受け入れに向けた準備 ② 受け入れ後の成果や課題 ※ 経営者と技能実習生による登壇																				
【第三部】 個別相談	① 個別ブースを複数設置し、行政書士による個別相談を実施																				

# 産 業 環 境 委 員 会 情 報 連 絡

令和7年12月9日

件 名	「T O K Y O周 穫 祭 2 0 2 5」の出展結果について								
所管部課名	産業経済部 産業振興課、 <u>一般財団法人足立区観光交流協会</u>								
内 容	<p><b>1 目的</b> 東京一丸となって特産品の販売や観光PRを実施し、都民及び都外観光客の誘客拡大を目的とする「T O K Y O周 穫 祭 2 0 2 5」に出展し、千住宿開宿400年のPRや観光冊子の配布等を通じて区外からの来街者を獲得する。</p> <p><b>2 概要</b>            (1) 日時                    令和7年11月22日（土） 午前10時～午後6時                            23日（日） 午前10時～午後5時            (2) 場所                    東京国際フォーラム 地上広場（千代田区丸の内3-5-1）            (3) 主催者                    公益財団法人東京観光財団</p> <p><b>3 観光交流協会の出展内容</b>            (1) 「大千住マップ」「月刊江戸楽」「週末おでかけあだち」等の観光冊子を、合計で6,874部配布した。            (2) 千住宿開宿400年のPRを行った。            (3) 区内企業（路地裏寺子屋 rojicoya）による和菓子（喜田屋千住宿開宿400年記念パッケージ等）や手ぬぐい等の販売            ※ 2日間で551個を販売</p> <p><b>4 来場者数</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th><th>来場者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月22日（土）</td><td>24,000人</td></tr> <tr> <td>11月23日（日）</td><td>29,000人</td></tr> <tr> <td>2日間の合計</td><td>53,000人</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 主催者発表（速報値）による。</p>	開催日	来場者数	11月22日（土）	24,000人	11月23日（日）	29,000人	2日間の合計	53,000人
開催日	来場者数								
11月22日（土）	24,000人								
11月23日（日）	29,000人								
2日間の合計	53,000人								

## 5 主な来場者の声

	内 容
区外在住者	テレビや駅のラックで見て北千住のことを知っていた。北千住は飲食店が多くて面白い。
	足立姫（和菓子）がとても美味しい。気にいったので今度友人を連れて喜田屋さんへ買い物に行こうと思う。
	宝さがし千住宿の秘宝をやっていて毎週千住に遊びに行っている。難しくてやりがいがあり楽しい。
	千住宿開宿400年や足立区のことを知らなかった。歴史が好きなので江戸楽を読んで千住に遊びに行きます。
区内在住者	有楽町で足立区の展示に出会おうと思わなかった。頑張っ て足立区をPRしてくれて嬉しい。
	千住宿開宿400年は千住の人なら皆知っている。江戸 楽は知らなかったので帰ってゆっくり読んでみたい。

## 6 今後の方針等

各区市町村の観光主管課や観光協会が多く出展するイベントのため、情報収集や他自治体の取り組みを知る絶好の機会となる。今後も同様のイベント等がある場合には出展を検討する。